

# 2020年 冬(2019年12月～2020年2月)の天候

令和2年3月2日  
札幌管区气象台  
地球環境・海洋課

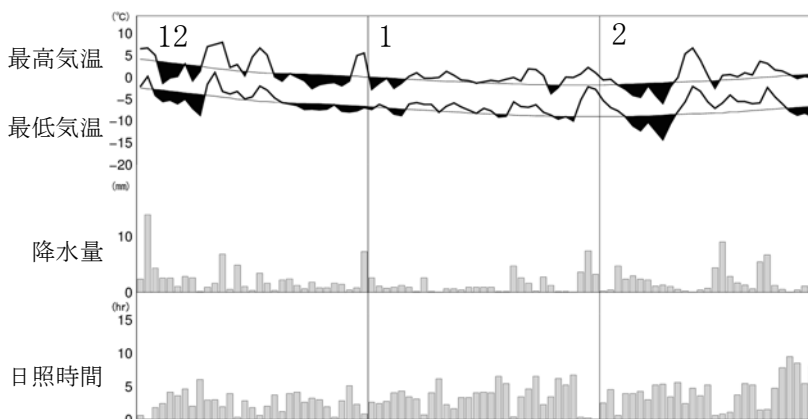
## 1. 今冬の概要『高温・少雨(少雪)・並照』

「4年振りの暖冬、冬型の気圧配置や発達した低気圧の影響少なく、冬の降雪量は記録的少雪」

12月や2月は一時的に強い寒気が入り、発達した低気圧や強い冬型の気圧配置の影響により局地的に大雪となる日もあったが、1月を中心に極域から寒気が南下しにくい正の北極振動が卓越し、冬型の気圧配置は長続きしなかった。また、発達した低気圧の影響を受けにくく、今冬は記録的少雪となった。

### (1) 気温

12月は上旬や下旬に強い寒気の影響を受ける日があった一方、中旬は平年を上回る日もあったため、寒暖の差は大きくなったが、月平均気温は平年並だった。1月は寒気の影響を受ける日もあったが、平年を上回る日が多く、月平均気温の平年差は+1.2℃と平年より高かった。2月は上旬に強い寒気が入ったが、その後は寒気の影響を受けにくく、月平均気温の平年差は+0.9℃と高かった。このため、冬の気温は+0.7℃と4年振りの暖冬となった。



第1図 2020年の冬(12～2月)の日々の気象経過(北海道22地点平均)

### (2) 降水量(降雪量)

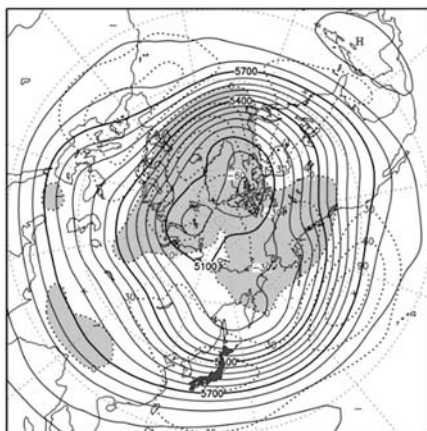
2月は低気圧や寒気の影響を受ける日もあり、月降水量は平年より多くなったが、今冬は冬型の気圧配置が長続きしなかったことや、発達した低気圧の影響を受けづかったため、冬の降水量の平年比は79%と少雨となった。また、冬の降雪量の平年比は北海道地方で58%、日本海側で55%、オホーツク海側で56%と1961年の統計開始以来最も少なかった。

### (3) 日照時間

冬型の気圧配置は長続きせず天気は数日の周期で変わりやすかった。1月は高気圧に覆われやすく月間日照時間は平年より多かったが、期間を通して気圧の谷の影響を受ける日も多く、冬の日照時間の平年比は103%と並照だった。

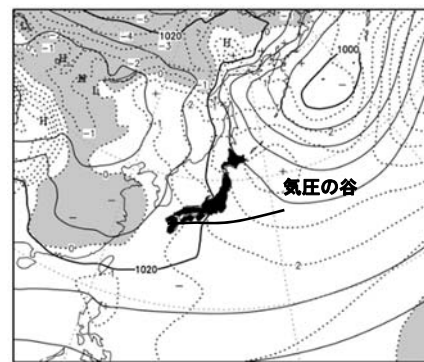
## 2. 大気の流れから見た特徴

**500hPa天気図:** 日本付近は帯状に高度が高く、偏西風は平年より北より流れ、北海道付近も暖かい空気に覆われやすかった。一方、東シベリアからカムチャツカ半島付近は高度が平年より低く北海道付近は寒気の影響を受けた時期があった。



第2図 a 冬平均の500hPa天気図

実線: 等高線(m)、点線: 高度の平年偏差(m)  
陰線部は、平年より高度の低い(負偏差)領域を示す。  
この領域では平年より気温が低い傾向がある。  
日本の上空では、風は等高線に沿って西から東に吹いている。等高線が南北に波打っている状態は偏西風が進行していることを、等高線の間隔が狭い所では偏西風が強いことを示す。

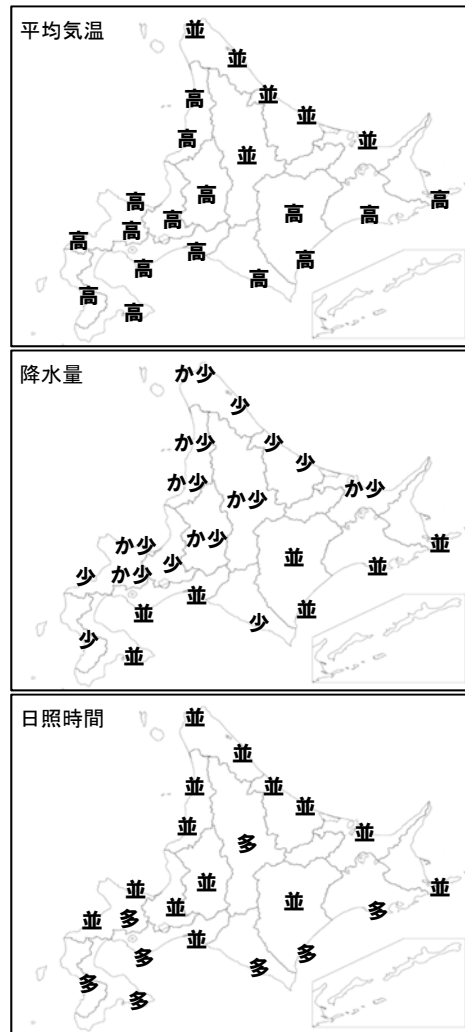


第2図 b 冬平均の地上天気図

実線: 等圧線(hPa)、点線: 気圧の平年差(hPa)  
陰線部は平年より気圧が低いことを示す。  
この領域では、平年より気圧の谷や低気圧の影響を受けやすい。

第1表 北海道の主な22地点における冬の平均気温、降水量、日照時間と平年差(比)

官署名	今冬			平年差・平年比(階級)		
	気温 ℃	降水量 mm	日照時間 h	気温 ℃	降水量 %	日照時間 %
稚内	-3.4	166.0	160.2	+0.4 (0)	64 (--)	103 (0)
北見枝幸	-4.4	189.5	253.3	+0.6 (0)	77 (-)	97 (0)
羽幌	-2.9	215.0	164.1	+0.7 (+)	65 (--)	94 (0)
雄武	-4.8	111.0	316.5	+0.6 (0)	82 (-)	103 (0)
留萌	-2.7	151.0	144.3	+0.6 (+)	52 (--)	92 (0)
旭川	-5.5	169.0	248.0	+0.6 (0)	77 (--)	103 (+)
網走	-4.0	90.5	374.9	+0.6 (0)	60 (--)	102 (0)
小樽	-1.8	245.0	204.2	+0.6 (+)	63 (--)	98 (0)
札幌	-1.7	270.5	281.6	+0.8 (+)	84 (-)	99 (0)
岩見沢	-3.6	221.0	268.4	+0.8 (+)	69 (--)	96 (0)
帯広	-4.5	104.0	564.2	+1.3 (+)	93 (0)	104 (0)
釧路	-3.3	97.5	561.5	+0.7 (+)	85 (0)	104 (+)
根室	-2.3	97.5	477.8	+0.5 (+)	93 (0)	103 (0)
寿都	-0.8	244.5	110.8	+0.7 (+)	79 (-)	104 (0)
室蘭	-0.3	173.0	309.6	+0.8 (+)	106 (0)	108 (+)
苫小牧	-2.0	116.5	415.8	+0.8 (+)	93 (0)	102 (0)
浦河	-0.7	71.0	447.1	+0.9 (+)	63 (-)	107 (+)
江差	1.0	200.0	153.1	+0.9 (+)	82 (-)	120 (+)
函館	-0.4	203.5	336.2	+1.2 (+)	92 (0)	106 (+)
倶知安	-3.8	357.5	175.2	+0.9 (+)	70 (--)	111 (+)
紋別	-4.1	106.5	325.1	+0.6 (0)	83 (-)	102 (0)
広尾	-2.6	204.0	483.5	+0.8 (+)	97 (0)	103 (+)
<b>北海道22地点平均</b>				+0.7 (+)	79 (-)	103 (0)
日本海側10地点平均				+0.7 (+)	71 (--)	102 (0)
オホーツク海側4地点平均				+0.6 (0)	76 (-)	101 (0)
太平洋側8地点平均				+0.9 (+)	90 (0)	105 (+)



第3図 冬(12~2月)の階級分布図

注) 括弧付きの値は欠測を含み、×は欠測を示す。

階級は、+は高い・多い(++はかなり高い・多い)、0は平年並、-は低い・少ない(--はかなり低い・少ない)

第2表 月別、旬別の全道および地域平均の平均気温、降水量、日照時間と平年差(比)と階級

(か→かなり、並→平年並 をそれぞれ示す。)

北海道全域

	12月上旬	12月中旬	12月下旬	12月	1月上旬	1月中旬	1月下旬	1月	2月上旬	2月中旬	2月下旬	2月
気温	-1.3 低	+2.8 高	-0.9 低	+0.1 並	0.0 並	+0.9 並	+2.5 高	+1.2 高	-1.4 低	+3.3 高	+0.7 並	+0.9 高
降水	107 多	76 少	59 少	80 少	33 か少	39 か少	104 多	58 か少	109 並	112 並	96 並	106 多
日照	92 並	74 か少	88 少	85 か少	119 多	117 多	106 多	113 多	93 並	81 少	146 か多	106 並

日本海側

	12月上旬	12月中旬	12月下旬	12月	1月上旬	1月中旬	1月下旬	1月	2月上旬	2月中旬	2月下旬	2月
気温	-1.5 低	+2.7 高	-1.0 低	0.0 並	-0.3 並	+1.0 高	+2.5 高	+1.1 高	-1.7 低	+3.4 高	+0.9 多	+0.9 高
降水	112 並	78 少	61 か少	82 少	34 か少	48 か少	51 か少	44 か少	93 並	86 並	84 並	87 少
日照	80 並	66 少	72 少	73 か少	118 並	120 多	117 多	118 多	93 並	75 少	153 か多	108 並

オホーツク海側

	12月上旬	12月中旬	12月下旬	12月	1月上旬	1月中旬	1月下旬	1月	2月上旬	2月中旬	2月下旬	2月
気温	-1.2 低	+2.9 高	-1.1 低	+0.1 並	0.0 並	+1.1 並	+2.1 高	+1.1 高	-1.4 低	+3.4 高	-0.3 並	+0.6 並
降水	59 並	33 少	47 か少	48 か少	30 か少	20 か少	187 多	80 並	158 多	125 多	77 並	118 多
日照	110 多	82 少	105 並	99 並	113 多	124 多	92 並	108 多	78 少	75 少	139 多	96 並

太平洋側

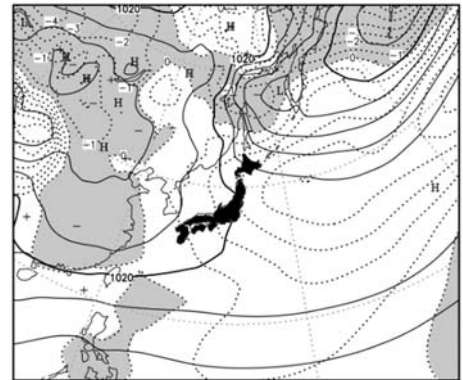
	12月上旬	12月中旬	12月下旬	12月	1月上旬	1月中旬	1月下旬	1月	2月上旬	2月中旬	2月下旬	2月
気温	-1.2 低	+2.8 高	-0.7 低	+0.3 並	+0.3 並	+0.8 並	+2.6 高	+1.3 高	-1.1 低	+3.2 高	+1.0 高	+1.0 高
降水	125 多	94 並	63 少	93 並	33 少	37 少	130 多	65 少	106 並	139 多	121 多	122 多
日照	98 並	81 か少	100 並	93 少	123 か多	110 多	100 並	110 多	101 並	91 少	141 か多	109 多

### 3. 月毎の気象

#### (1) 12月『並温・少雨（少雪）・寡照』 ときおり寒気強まるも、顕著な少雪

**気象経過：**この期間の天気は、上旬は前線や低気圧、及び冬型の気圧配置の影響で日本海側を中心に雪や雨の降った日が多かったが、高気圧の張り出しの中となって広い範囲で晴れた日もあった。中旬と下旬は気圧の谷が短い周期で通過し、冬型の気圧配置は長続きしなかった。

**地上天気図：**日本の東海上は平年より気圧が高く、日本付近の冬型の気圧配置は平年より弱く、北海道付近も冬型の気圧配置は長続きしなかった。一方、沿海州付近の気圧は平年より高く、北海道付近の冬型の気圧配置が強まる時期もあった。



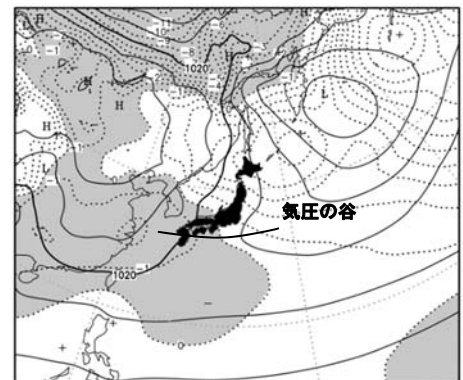
第4図 12月の地上天気図

図の見方は第2図bに同じ

#### (2) 1月『高温・少雨（少雪）・多照』 寒気弱く少雪続くも、月末に大雪

**気象経過：**この期間の天気は、上旬は冬型の気圧配置となる日が多く、日本海側を中心に雪の降った日があったが、高気圧の張り出しの中となって晴れた日もあった。中旬と下旬は冬型の気圧配置が長続きせず、天気が数日の周期で変わり、高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、29～31日は低気圧が発達しながら北海道付近を通過した影響で、大荒れの天気や大雪となった所もあった。

**地上天気図：**シベリア高気圧とアリューシャン低気圧は平年より弱く、日本付近の冬型の気圧配置は平年より弱く、北海道付近も冬型の気圧配置は長続きしなかった。東・西日本付近が気圧の谷となり、北海道付近は発達した低気圧の影響を受けにくかった



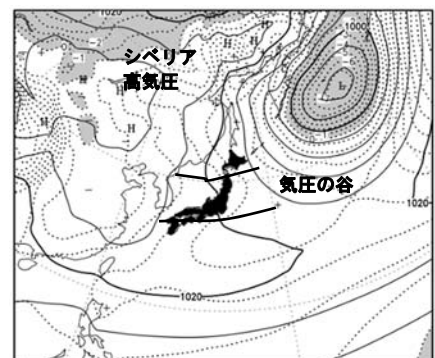
第5図 1月の地上天気図

図の見方は第2図bに同じ

#### (3) 2月『高温・多雨（少雪）・並照』 低気圧の影響で多雨となるも、寒気弱く少雪

**気象経過：**この期間の天気は、上旬は冬型の気圧配置となって、日本海側やオホーツク海側では雪の降った日が多く、太平洋側では晴れた日が多かった。中旬は、はじめ高気圧の張り出しの中となって広い範囲で晴れたが、その後は冬型の気圧配置や低気圧の影響で雪や雨の降った日が多かった。下旬は発達した低気圧の影響により広い範囲で雪や雨が降った日もあったが、高気圧の張り出しの中となって広い範囲で晴れた日が多かった。

**地上天気図：**日本付近の冬型の気圧配置は平年より弱く、北海道付近も冬型の気圧配置が長続きしなかったが、上旬にはシベリア高気圧が強まり、北海道付近の冬型の気圧配置が強まる時期もあった。また、北海道の南が気圧の谷となり、低気圧の影響を受ける日もあった。



第6図 2月の地上天気図

図の見方は第2図bに同じ

#### 4. 今冬の主な記録

##### (1) 今冬に観測された統計開始以来3位までの記録

**第3表 今冬に観測された統計開始以来3位までの記録（北海道の主な22地点）**

期間	要素	順位	地点	本年	平年差(比)	これまでの1位(年)	統計開始年
12月	月降水量（少ない）	第1位	網走	14.5 mm	24 %	15.0 (1973)	1889
		第2位	小樽	73.0 mm	52 %	62.0 (1984)	1943
			紋別	19.5 mm	37 %	17.0 (1988)	1956
		第3位	留萌	76.0 mm	65 %	67.5 (1995)	1943
1月	月降水量（少ない）	第1位	稚内	35.0 mm	42 %	35.0 (2007)	1938
			小樽	56.0 mm	39 %	78.0 (1997)	1943
			浦河	4.5 mm	12 %	5.5 (1984)	1927
			江差	28.5 mm	33 %	40.0 (1985)	1941
		第2位	羽幌	60.0 mm	52 %	47.3 (1963)	1921
			留萌	39.5 mm	40 %	33.0 (2017)	1943
			寿都	41.5 mm	37 %	33.9 (1908)	1885
			倶知安	95.5 mm	51 %	80.5 (1989)	1944
2月	月降水量（少ない）	第3位	留萌	35.5 mm	51 %	31.0 (2011)	1943
12-2月	3か月間降水量（少ない）	第1位	留萌	151.0 mm	52 %	172.0 (2017)	1944
			小樽	245.0 mm	63 %	246.5 (2002)	1944
			倶知安	357.5 mm	70 %	367.5 (1989)	1945
		第2位	羽幌	215.0 mm	65 %	162.4 (1940)	1922
		第3位	稚内	166.0 mm	64 %	119.5 (2017)	1939

注) 今冬の記録が2位および3位の場合における「これまでの1位」は、3月2日現在も1位となる。

##### (2) 今冬の降雪量と最深積雪

**第4表 2020年の冬(12~2月)の降雪量・最深積雪 (cm)**

	12月			1月			2月			冬合計			冬最深積雪		
	降雪量	平年	比(階級)	降雪量	平年	比(階級)	降雪量	平年	比(階級)	降雪量	平年	比(階級)	降雪量	平年	比
稚内	90	160	56% (--)	51	173	29% (--)	83	143	58% (--)	224	478	47% (--)	24	78	31%
北見枝幸	123	161	76% (-)	97	166	58% (--)	102	125	82% (-)	322	455	71% (--)	75	103	73%
羽幌	81	172	47% (--)	95	198	48% (--)	67	150	45% (--)	243	519	47% (--)	42	101	42%
雄武	44	113	39% (--)	60	124	48% (--)	62	95	65% (-)	166	335	50% (--)	54]	67	×
留萌	76	170	45% (--)	78	197	40% (--)	66	156	42% (--)	220	523	42% (--)	34	86	40%
旭川	110	189	58% (--)	90	174	52% (--)	94	131	72% (--)	294	497	59% (--)	65	91	71%
網走	19	85	22% (--)	60	105	57% (--)	67	81	83% (0)	146	271	54% (--)	38	55	69%
小樽	90	156	58% (--)	100	194	52% (--)	165	156	106% (0)	355	507	70% (--)	69	120	58%
札幌	54	132	41% (--)	85	173	49% (--)	195	147	133% (+)	334	456	73% (--)	80	99	81%
岩見沢	154	200	77% (-)	116	207	56% (--)	116	160	73% (-)	386	570	68% (--)	52	122	43%
帯広	17	47	36% (--)	42	59	71% (0)	62	37	168% (+)	121	141	86% (0)	63	62	102%
釧路	7	27	26% (--)	40	44	91% (0)	24	34	71% (0)	71	104	68% (-)	27	33	82%
根室	21	36	58% (-)	47	62	76% (-)	32	55	58% (-)	100	152	66% (-)	23	29	79%
寿都	81	121	67% (-)	46	169	27% (--)	102	134	76% (-)	229	426	54% (--)	28	73	38%
室蘭	13	38	34% (--)	16	65	25% (--)	52	56	93% (0)	81	159	51% (--)	25	25	100%
苫小牧	14	27	52% (0)	26	39	67% (-)	51	39	131% (+)	91	104	88% (0)	21	28	75%
浦河	7	32	22% (--)	7	48	15% (--)	20	37	54% (-)	34	118	29% (--)	9	21	43%
江差	30	71	42% (--)	2	113	2% (--)	34	88	39% (--)	66	273	24% (--)	11	31	35%
函館	75	86	87% (0)	22	118	19% (--)	71	90	79% (-)	168	293	57% (--)	21	43	49%
倶知安	217	252	86% (-)	148	291	51% (--)	158	226	70% (-)	523	770	68% (--)	95	187	51%
紋別	24	104	23% (--)	67	128	52% (--)	75	102	74% (-)	166	334	50% (--)	46	56	82%
広尾	10	75	13% (--)	65	123	53% (-)	82	94	87% (0)	157	290	54% (--)	77	85	91%
北海道平均			48% (--)			47% (--)			80% (-)			58% (--)			64%
日本海側			58% (--)			41% (--)			71% (--)			55% (--)			49%
ホツツ海側			40% (--)			54% (--)			76% (-)			56% (--)			75%
太平洋側			41% (--)			52% (--)			93% (0)			62% (--)			78%

注)「」付きの値は欠測を含む。「」付きの値は一定の割合以上の欠測を含み、「×」は平年比が算出できないことを示す。

階級は、+は高い・多い(+はかなり高い・多い)、0は平年並、-は低い・少ない(--はかなり低い・少ない)

(3) 真冬日の日数

第5表 真冬日の日数

	12月			1月			2月			冬		
	日数	平年値	平年差	日数	平年値	平年差	日数	平年値	平年差	日数	平年値	平年差
稚内	15	15.2	-0.2	24	23.8	+0.2	22	22.1	-0.1	61	61.2	-0.2
北見枝幸	18	17.2	+0.8	27	25.2	+1.8	24	22.8	+1.2	69	65.3	+3.7
羽幌	15	12	+3.0	20	21.5	-1.5	14	18.1	-4.1	49	51.7	-2.7
雄武	17	16	+1.0	27	25	+2.0	23	22	+1.0	67	63.2	+3.8
留萌	15	10.9	+4.1	20	20.8	-0.8	15	17.4	-2.4	50	49.1	+0.9
旭川	18	19	-1.0	27	25.6	+1.4	19	20.4	-1.4	64	65.3	-1.3
網走	13	14	-1.0	23	24.3	-1.3	23	22.1	+0.9	59	60.5	-1.5
小樽	13	10.4	+2.6	14	18.3	-4.3	11	15	-4.0	38	43.8	-5.8
札幌	13	9	+4.0	12	17.4	-5.4	10	14	-4.0	35	40.4	-5.4
岩見沢	16	15	+1.0	23	22.8	+0.2	15	18.4	-3.4	54	56.4	-2.4
帯広	11	12.1	-1.1	16	22.5	-6.5	14	16.8	-2.8	41	51.6	-10.6
釧路	9	6.9	+2.1	12	17.8	-5.8	15	15	0.0	36	39.7	-3.7
根室	10	8.7	+1.3	19	19.7	-0.7	22	19.8	+2.2	51	48.2	+2.8
寿都	14	8.5	+5.5	11	15.9	-4.9	10	13.7	-3.7	35	37.9	-2.9
室蘭	8	6.4	+1.6	6	14.1	-8.1	9	12.2	-3.2	23	32.7	-9.7
苫小牧	8	6.5	+1.5	5	14.4	-9.4	8	11.2	-3.2	21	32	-11.0
浦河	2	5	-3.0	5	11.9	-6.9	7	9.8	-2.8	14	26.6	-12.6
江差	2	3.8	-1.8	3	9.7	-6.7	6	8.1	-2.1	11	21.6	-10.6
函館	6	6.1	-0.1	5	12.3	-7.3	8	8.9	-0.9	19	27.2	-8.2
倶知安	16	15.4	+0.6	18	23.2	-5.2	15	18.5	-3.5	49	57.2	-8.2
紋別	17	15.1	+1.9	27	24.6	+2.4	22	21.6	+0.4	66	61.3	+4.7
広尾	9	7.8	+1.2	17	18	-1.0	16	16.6	-0.6	42	42.5	-0.5

5. 今冬に発表した、天候に関わる気象情報※

なし

※ ここでの「気象情報」は、平年から大きくかけ離れた気象状況が数日間以上続き、社会的に大きな影響が予想される  
ときなどに発表する情報を指します。

問い合わせ先:札幌管区気象台地球環境・海洋課  
電話:011(611)6174